

[成果情報名] 諫早湾干拓地における秋作バレイショの植付適期

[要約] 諫早湾中央干拓地における秋作バレイショは、植付け後30日間の日平均気温が23℃程度で、30日間の積算温度700℃前後となる9月4日から11日の間が植付適期である。

[キーワード] 秋作バレイショ、植付適期、積算温度

[担当] 総合農林試験場・企画経営部・干拓科

[連絡先] 電話0957-35-1272、電子メールm-kobayashi@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 総合・営農(干拓)

[分類] 指導

[背景・ねらい]

諫早湾中央干拓地では平成14年から気象観測を開始した。

秋作バレイショの植付適期について、中央干拓地の気象値に照らしてメッシュ情報の適応性の検証を行い、作型を設定する。

[成果の内容・特徴]

1. 過去4ヶ年の植付期と収穫期から、その生育日数と総収量の関係は図1のとおりである。
この関係から目標収量(3,200kg/10a)を確保できる生育日数の目安は79日、生育積算温度は1400℃となり、平均初霜日(11/24)から生育日数79日を逆算すると9/5、同様に生育積算温度1,400℃を確保できる時期を逆算すると9/7となる。
2. 平成15年の植付時期別の収量は表3のとおりであり、9/5植付で収量が安定した。
植付け後の生育積算温度と収量の関係は図3のとおりであり、この関係から植付けから初霜期までの積算温度(平年値)による収量予測が可能となる。
3. 長崎県農林業総合情報システムによる作物適地図(メッシュ情報)による秋作バレイショの作型設定は、植付け後30日間の日平均気温が23℃程度で、30日間の積算温度700℃前後であり、中央干拓地の気象値に照らして想定するとその時期は9月4日から6日となり、植付け期の判断として適用できる。(表4)
4. 同様の方法で地域毎の植付け期を算出すると、干拓地では島原地区と比較して6~8日早い。(参考)

[成果の活用面、留意点]

1. 「デジマ」で適用できる。
2. 諫早湾干拓初期営農対策の指針へ適用する。
3. 天候不順等により植付け期が遅れた場合の収量予測が可能となる。

[具体的データ]

表1 初霜日(中央干拓地)

年	初霜日
平成14年	11/18
15年	11/24
16年	12/01
平均	11/24 ±5.3

表2 秋作栽培の年次別収量

年次	植付日	収穫日	生育日数(日)	生育積算温度(°C)	総収量(kg/10a)
13年	09/07	12/06	90	1,516	3,600
14年	09/12	11/20	69	1,143	2,870
15年	09/05	11/17	73	1,427	3,200
16年	09/15	11/24	70	1,274	2,672

※品種：デジマ 施肥量14-14-0

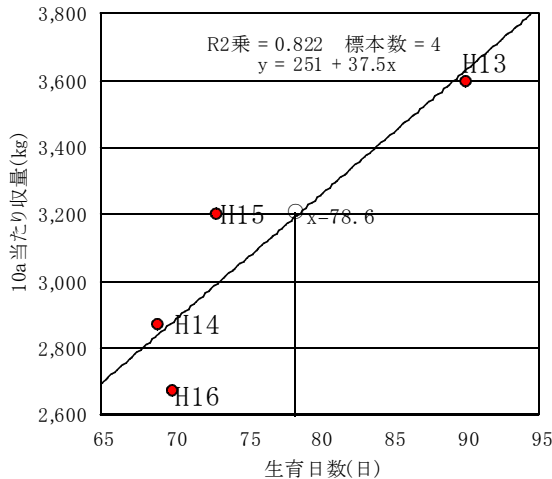


図1 生育日数と収量の関係

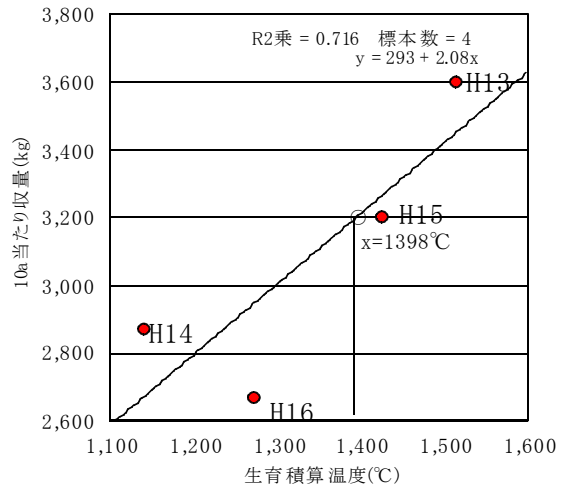


図2 生育積算温度と収量の関係

表3 秋作バレイシヨの植付期と収量(平成15年)

植付期	総収量(kg/10a)	規格内収量(kg/10a)	生育日数(日)	生育積算温度(°C)
08/24	2,740	2,580	85	1,761
09/05	3,200	3,010	73	1,427
09/17	1,920	1,590	61	1,112

※品種：「デジマ」 収穫：11/17
施肥量(kg/10a) 14-14-0

表4 中央干拓地気象値から判断される

年	秋作バレイシヨの植付期	
	植付け後30日の平均気温が23°Cとなる時期	植付け後30日の積算温度が700°Cとなる時期
H14年	09/04	09/03
H15年	09/07	09/06
H16年	09/13	09/11
H14~16平均	09/04	09/06

※ H15年、H16年は一部欠測を補正して算出

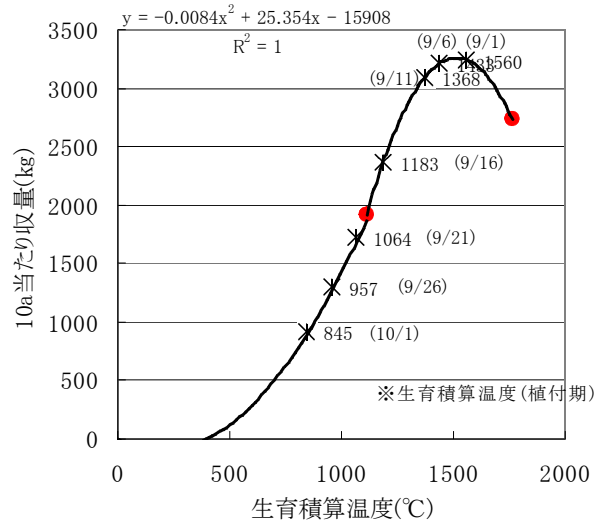


図3 生育積算温度と収量の関係(H15年成績)

参考 表5 地域別気象値による植付期判定の比較

植付け後30日の	中央干拓	農試本場	愛野支場	島原	口之津	佐世保	平戸
平均気温が23°Cとなる時期	09/04	09/05	09/08	09/12	09/10	09/11	09/03
積算温度が700°Cとなる時期	09/06	09/07	09/10	09/15	09/14	09/14	09/07

[その他]

※各地区の数値はH14~16年の気象値の平均から算出 島原、口之津、佐世保、平戸はアメダスデータ

研究課題名：2) 諫早湾干拓営農対策試験(2) 営農対策試験

予算区分：県単

研究期間：2000~2004年度

研究担当者：宮寄朋浩、黒川陽治、小林雅昭